

令和5年度（相模原支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服従規律の徹底）	勤務時間の内外を問わず、公務員としての立場を十分に自覚し、規律を守り適正に行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・通知文書や啓発資料の提示等を速やかに行い、朝の打合せや職員会議等も活用し、職員全体に適宜適正な行動規範等の呼びかけを継続的に行った。 ・小さなこともすぐに相談できる雰囲気を作り、職員全体が規律を守り適正に行動する意識を高めることができた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権意識の高い職場環境となるよう相手の尊厳や人格を尊重した言動を常に心がけ、人権感覚を磨く。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止ミニ研修のテーマとし、担当者がわかりやすい資料を作成、ハラスメントのない職場＝同僚性の高い職場を目指し、同僚性を高める手立てや大切なことを研修内で体験できた。 ・職員間のコミュニケーションを深めることが、ハラスメントをしないことにつながることを全職員で共有できた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	児童・生徒の意思や行動を尊重した指導を実施し、各々の生活年齢にふさわしい対応と指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重について不祥事防止会議やミニ研修を通して確認した。管理職等が毎日校内巡回し、複数の教員で対応する、密室となる環境を作らない等を助言した。 ・研修用動画等の視聴、点検啓発資料の自己点検、管理職面談を通して各自の人権意識向上に努めて防止した。
体罰・不適切な指導の防止	児童・生徒の人権を尊重し、障害や行動特性に応じた適切で丁寧な指導を行う。体罰不適切な指導を根絶する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒理解を深め、自身の指導支援の手立てが適切か教育相談班を中心に相談やケース会議で共有確認した。 ・ミニ研修では、グループワークや事例を通して自身の指導を振り返ることができた。 ・各学部長が適切な支援方法の相談時間の確保に心がけ、良い指導を全体へ紹介するなどを通して抑止に努めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類（地域支援・個別教育計画等含む）の作成と取扱いに係る事故防止	入学者選抜、個別教育計画、進路関係書類等に関する書類の取扱いについて安全な運用及び管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別教育計画作成時は、手順に沿った書類作成と点検を行い、各学部長を中心に注意点を周知徹底した。 ・入学者選抜業務や進路関係書類取り扱い時には、必要な情報以外は収集や記載を避け、事前に取扱いの方法に関して十分に理解を深めて複数でのチェックを徹底し、安全に書類を取り扱うことができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の重要性を常に意識し、その取扱いについて安全な運用及び管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・点検啓発資料の回答等を通して、個人情報保護及び情報セキュリティの理解と個人情報の収集や持ち出しのルールを確認した。 ・個人情報等を取扱う際は事前確認と複数チェックを毎回実施、ヒヤリ・ハット事案をすぐに全体で共有、原因分析を行い再発防止に努めた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守・交通事故防止の意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通法規及び交通事故防止への意識を高めるため、日常的に継続的な注意喚起を図った。 ・年末には点検啓発資料を配付し、各自の回答から陥りやすいポイントをフィードバックして交通法規の正しい理解につなげ、防止できた。
財務事務等の適正執行	学校徴収金等の会計事務における不適正処理を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・会計給食班員を中心に、私費会計管理マニュアルに基づいて適正に会計事務を執行することに努めた。 ・複数でチェックする体制を徹底し、年度途中の財務事務調査で判明した点を速やかに以後の私費会計処理に生かすなど、事務室とも連携して確認することで不適正処理を未然防止できた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和5年度は、ヒヤリ・ハット報告書等の校内書式を見直し、当事者が的確に原因分析ができるように項目の整理を行った。また毎月1回、不祥事防止ミニ研修を行い、各担当チームが準備したテーマ理解の資料とグループ協議を通して不祥事や事故を未然に防ぐ上での知識を学び、自分事とする意識を高められた。県作成の点検啓発資料をFormsにより回答することで、簡単に取り組めるようにするとともに、誤った回答の際には、正しい答えとミニ知識や考え方を個々にフィードバック、自身の理解度等を振り返り、不祥事の未然防止につなげることができた。

年間を通して、風通しの良い教職員同士が互いを尊重し合う同僚性の高い働きやすい職場づくりに力を入れ、ゆとりの創出や報告・相談しやすい雰囲気を作り、気になることやヒヤリ・ハット事案に対して迅速に対応できた。

令和6年度も引き続き、教職員全体のOJTを推進するとともに人権感覚を磨き、互いを認め合い信頼関係を築いて風通しの良い職場をつくり、事故不祥事を防止する意識を高めたい。そのためには、ヒヤリ・ハット事案を的確に原因分析して再発防止の具体的な手立てを不祥事防止会議等で報告書を活用して共有すること、点検啓発資料とミニ研修の実施、総括教諭や管理職の校内巡回、教職員同士の定期的な振り返り、効果的な不祥事防止全体研修の実施など工夫に努め、不祥事のない職場を目指す。